

TOTO

リモデル便器施工説明書 NEW CSシリーズ(リモデルタイプ) CS771系

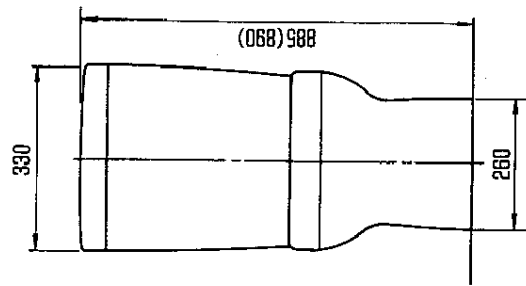
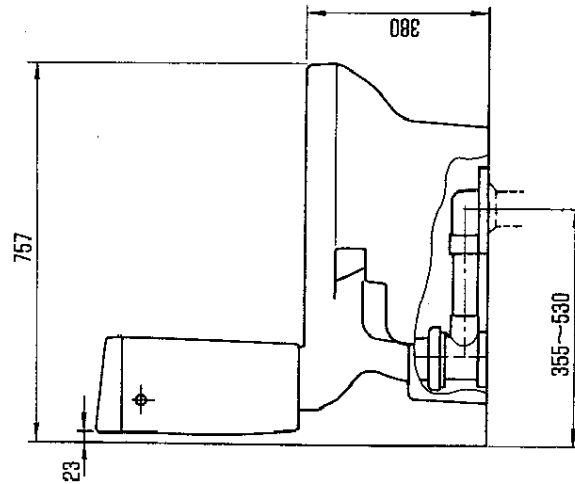
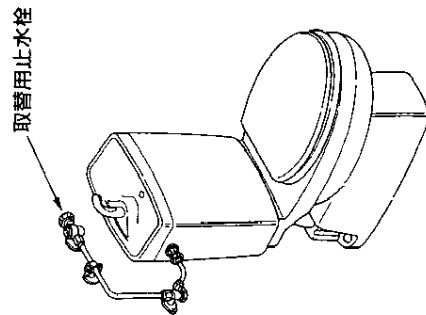
この便器は従来の便器と施工方法が異なりますのでこの説明書をよく読んで施工してください。便器施工後は、ロータンク金具施工説明書に
したがって施工を行ってください。

便 器 施 工 完 成 図

NEW CSシリーズ

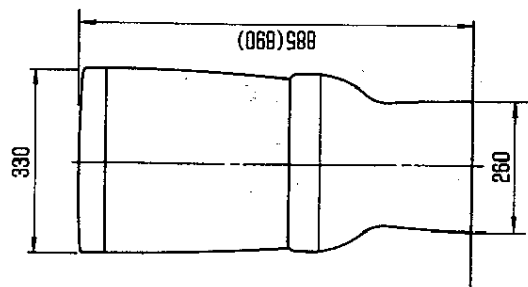
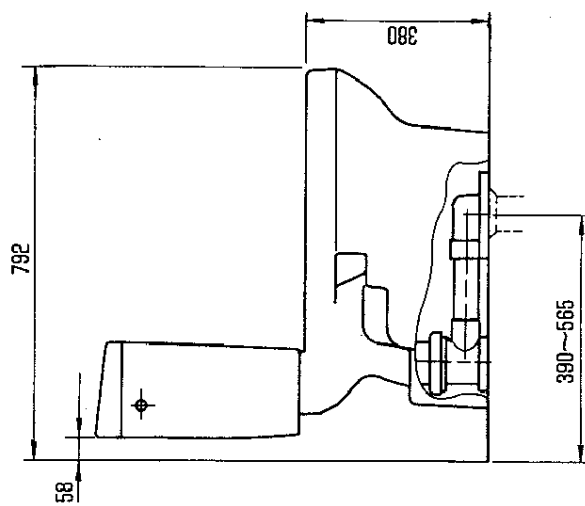
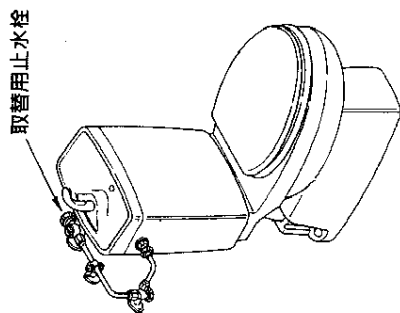
CS771系

〈取替用止水栓がタンクと接触しない場合〉



()内寸法は手洗付の場合

〈取替用止水栓がタンクと接触する場合〉



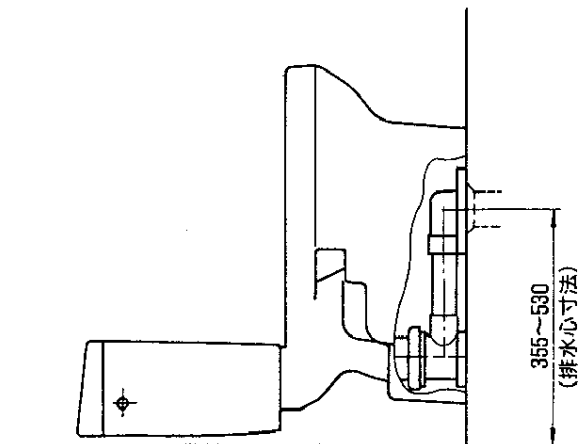
()内寸法は手洗付の場合

イラストの取替用止水栓は別売のTS791F1です。

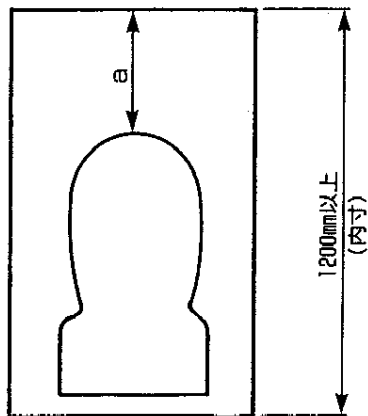
注) C730からの取替えの場合、排水心が壁から540mmにあるため、タンク～壁すき間は33mmになります。

施 工 前 の ご 注 意

1. 取替対応可能排水寸法



2. トイレブース奥行必要寸法



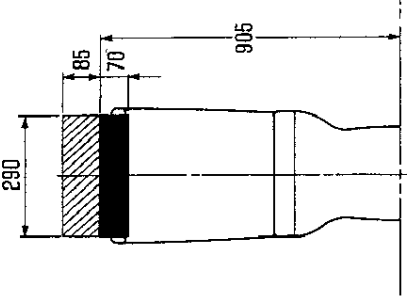
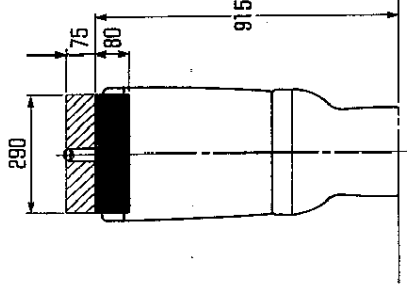
1200mm以下ですとa寸法が小さくなり、便器に腰掛ける際使用しづらくなります。

注) 1. 止水栓取付位置がタンクの裏側にありタンクと接触する場合は、便器を壁から離す必要があるため対応可能排水心ならびにトイレブース奥行必要寸法が異なります。

2. ドアの開閉に支障のないことをご確認ください。

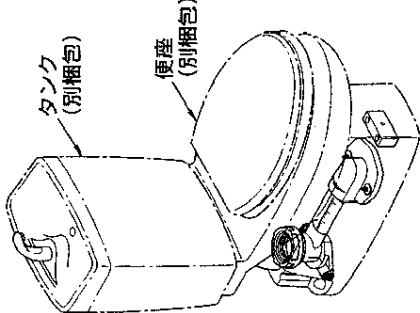
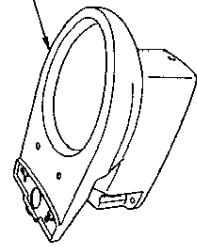
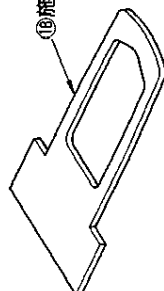
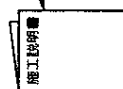
3. 取替用給水金具（別売）の使用可能範囲

別売でC14、C21の取替用給水金具を準備しています。それらの使用可能範囲は下図の範囲内（、）に給水取出しセンターがある場合です。但し、上記2品番以外の便器からの取替えの場合は、別途現場手配いただくことになります。

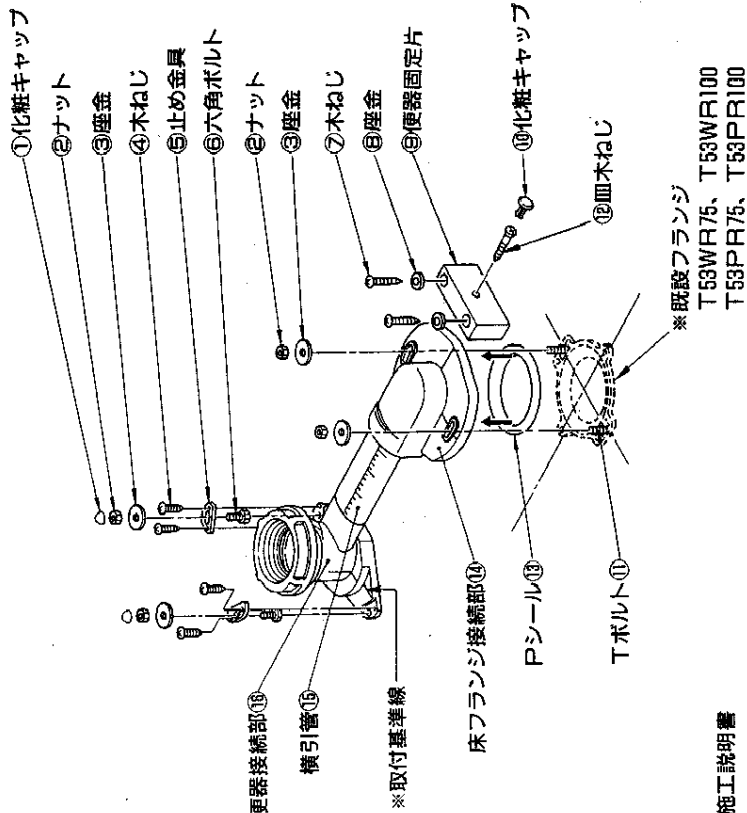
リモデル便器 既設便器	CS771系	
	手 洗 無	手 洗 付
C14、C21 注) C21で  範囲 の場合は給水位 置をタンクの接 触しない位置へ 変更してください。	TS791F1(取替用止水栓)	
		

 止水栓とタンクが接触しない範囲
 止水栓とタンクが接触する範囲

便器部構成部品

部品名		数量	構成部品図	
便器 (NEW CSシリーズ)		1	完成イメージ図	
便器接続部(ゴムジョイント付)		1		
横引管		1		
床フランジ接続部		1		
化粧キャップ(便器後側)		2		
化粧キャップ(便器前側)		1		
木ねじ(排水アジャスタ用)		4		
木ねじ(便器固定片用)		2		
六角ボルト		2		
Tボルト		2		
皿木ねじ		1		
座金(排水アジャスタ用)		4		
座金(便器固定片用)		2		
ナット		4		
止め金具		2		
Pシール(金属フランジ用、樹脂フランジ用)(13)		各1		
便器固定片		1		
施工用型紙		1		
施工説明書		1		

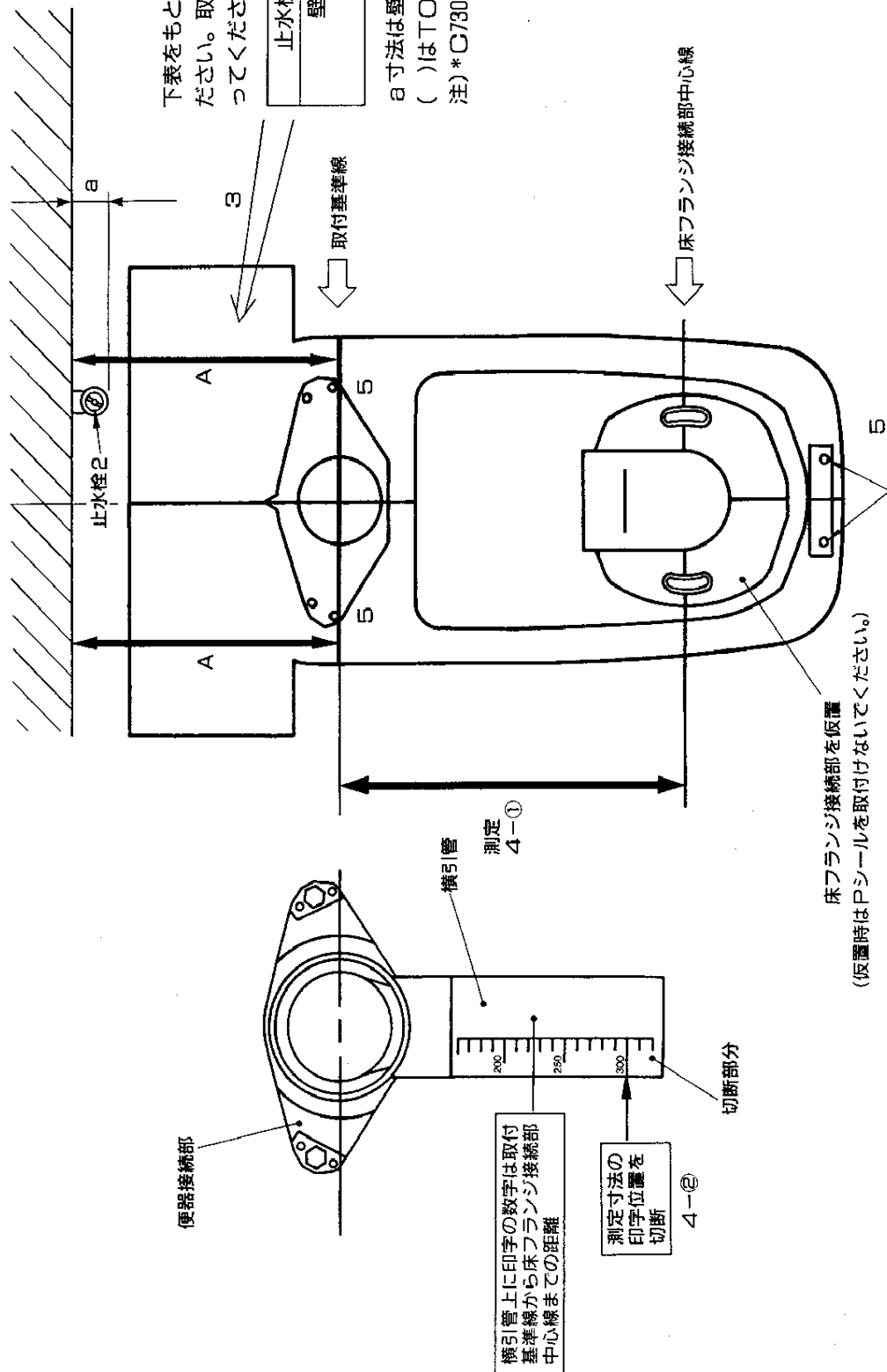
下図は既設フランジ (金属、樹脂フランジ) 流用時の取付けを示すものです。



()内の数字は構成部品図の部品番号です。

施工用型紙と排水ジャスタの位置関係

同梱の施工用型紙は、排水ジャスタの横引管の切断位置を決めるのに用います。また、排水ジャスタの便器接続部と便器接続部の木ねじのけがきにも使用できます。
図中の数字は右の便器施工要領の手順番号を示します。



(仮置時はPシールを取付けないでください。)

下表をもとに取付基準線をA寸法の位置に合わせてください。取付基準線の位置決めは左右の2ヵ所で行なってください。

止水栓とタンクの接触	無	有
壁～取付基準線 A寸法	*200	a+190 (295)

a寸法は壁～止水栓の出代を示します。

()はTOTQの取替用止水栓を使用した場合です。

注) *C730(排水心540)の場合はA寸法は210となります

便器施工要領

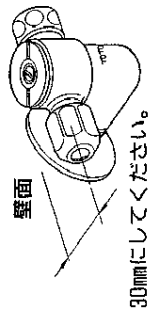
便器の施工、排水アジャスタの組立は便器同梱の施工用型紙をご利用ください。また、取替用止水栓の施工に当っては、取替用止水栓の施工説明書をご覧ください。

1. 既設便器の取外し

既設のタンクと便器を取外し、Pシールをきれいに取除いてください。その後、便器の中心線を床にけがいてください。

2. 取替用止水栓の取付け

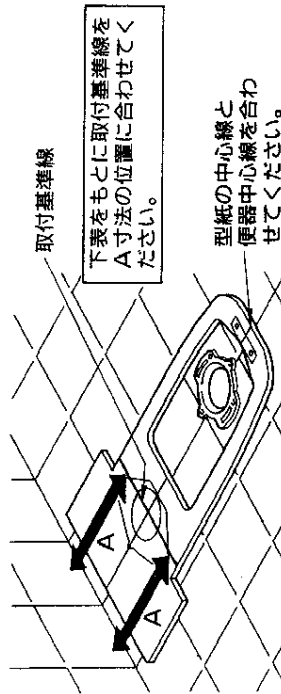
既設の止水栓を取外し取替用の止水栓を取付けます。



* 別途現場手配の場合は
止水栓の位置、前出寸
法を確認してください。

30mmにしてください。

3. 取付基準線の位置合わせ



止水栓とタンクの接触	無	有
壁～取付基準線 A寸法	* 200	a + 190 (235)

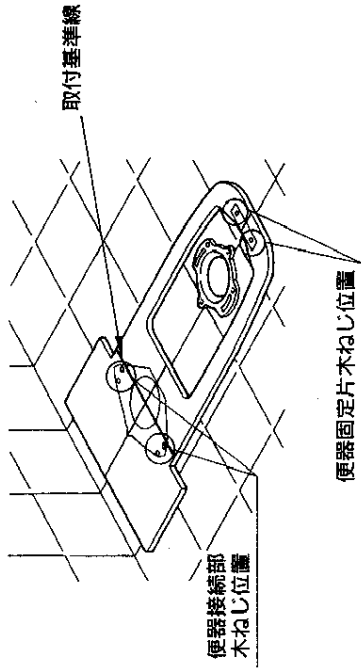
a寸法は壁～止水栓の出代を示します。

()はTO TOCの取替用止水栓を使用した場合です。

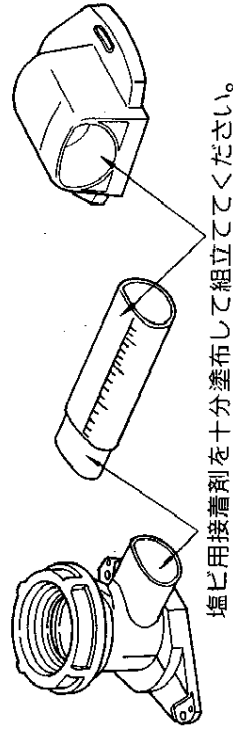
注) * C730(排水心540)の場合はA寸法は210となります。

5. 木ねじ穴のけがき、下穴あけ

取付基準線から壁までの寸法の位置決めを行った排水アジャスタの便器接続部と便器固定片の木ねじ位置をけがいて、下穴をあけます。



6. 排水アジャスタの組立て



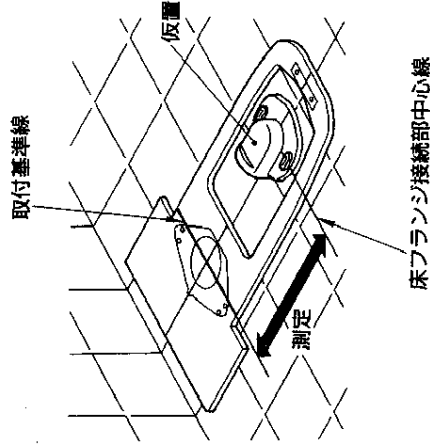
注) 横引管は最後まで、きちんと押込んでください。

接着が不十分ですと漏水の原因となります。

4. 横引管の切断

① 取付基準線から床フランジ接続部中心線までの寸法測定

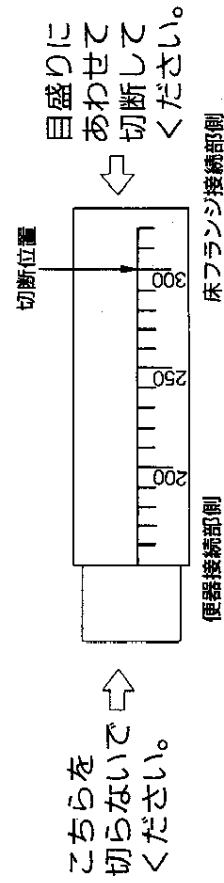
既設フランジの上に、床フランジ接続部を仮置き、取付基準線と床フランジ接続部中心線との寸法を測定します。この時Pシールは取付けないでください。



② 排水アジャスタ横引管の切断

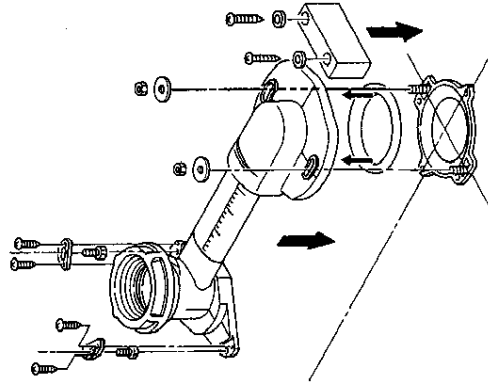
横引管上に印字している目盛寸法と測定寸法が合う位置で横引管をまっすぐに切断します。切断後、端部のバリを完全に取りのぞいてください。

(例) 上図測定寸法が300mmの場合



注) 上図測定寸法が155mmの場合、横引管は不要です。便器接続部と床フランジ接続部を直接つないでください。

7. 排水アジャスタ、便器固定片の取付け



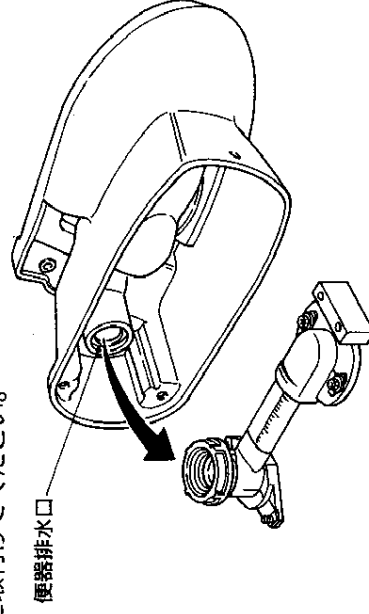
注) Pシールは、既設フランジ(金属または樹脂)に合ったものを使用してください。

8. 便器の固定

便器排水口周辺のごみや水分を取り除き、便器排水口を排水アジャスタの便器接続部に差し込み、便器後方をナットで締付けて固定します。

なお、ナットを強く締めすぎて便器を割らないようご注意ください。

便器固定用皿木ねじを便器正面の取付穴から固定片にねじ込み便器を固定して最後に化粧キャップを取付けてください。



* ロータンク・内部金具の施工に当っては、各施工説明書にしたがって行ってください。